

安浦小表現ワールド～みんなで目指す表現の達人！～

男子 15名 女子 15名
計 30名

1 単元のデザイン

単元について

- 本単元は、小学校学習指導要領体育における第5学年及び第6学年の内容F「表現運動」の「ア表現」を指導するために設定されたものである。表現運動は自己の心身を解き放して、イメージやリズムの世界に没入してなりきって踊ることが楽しい運動である。
- 「グループで激しい感じの場面を踊って、友達や家族に感想を言ってもらおう」という単元末の活動を設定し、目的意識を持って学習を進めることで、本校で育成を目指す資質・能力が育むことができる。

児童の実態

- 本学級の児童に表現運動が好きかどうかを尋ねたところ、表現運動が好きと肯定的に答えた児童は93%、否定的に答えた児童は7%であった。
- 第4学年の「リズムダンス」では、楽曲「USA」を取り上げ、動きやリズムの変化をつけるためにストップモーションや決めポーズを取り入れて踊ることを学んだ。しかし、場面を体の動きで表す表現の経験が少なかったり、自分の動きを映像で客観的に確認したりしながら動きの質を高めることはできていない。

パフォーマンス課題について

- 本単元では、グループで選んだ激しい感じの世界を踊って、運動会で行った集団表現と比較して友達や家族に感想を言ってもらおうというパフォーマンス課題を設定する。相手意識・目的意識を明確にし、動きを自分たちで創造していく過程を通して、自己やグループの課題の解決に向けて、表したい内容や踊りの特徴を捉えた練習や発表・交流の仕方を工夫する思考力・判断力、自己や仲間の考えたことを他者に伝える表現力が育成されると考える。

思考を深める指導のポイント

- よりよい動きを考えていくための視点として「4つのくずし（体）（リズム）（空間・場）（相手）」を活用し、動きを分類する。動きの質を高めるためにペアやグループでICT（タブレット）を活用して、自分たちの動きを確認する。

2 単元の目標

- ・表現の行い方を理解するとともに、表したい感じを表現することができるようにする。
【知識及び技能】
- ・自己やグループの課題の解決に向けて、表したい内容や発表の仕方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
- ・表現に積極的に取り組み、互いのよさを認め合い助け合って踊ったり、場の安全に気を配ったりすることができるようにする。
【主体的に取り組む態度】

3 単元の評価規準

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	①表現の行い方について、言ったり書いたりしている。 ②激しい感じや急変する感じをメリハリ（緩急・強弱）のあるひと流れの動きにして即興的に踊ることができる。 ③表したい感じやイメージを強調するように、変化と起伏のある「はじめーなかーおわり」の構成を工夫して、仲間と感じを込めて通して踊ることができる。	①表したい感じやイメージが表れているか、踊りの特徴を捉えて踊れているかなど、グループの仲間や他のグループの踊りを見て、自己やグループの課題を見つけている。 ②「表したい感じやイメージを強調する」という課題に応じて、差のある動きや群の動きなどで変化を付ける方法を選んでいる。 ③表したい感じやイメージにふさわしい動きになっているかをペアのグループやクラス全体で見合い、よくなったところを伝えている。	①表したい感じやイメージを表現する運動に積極的に取り組もうとしている。 ②互いの動きや考えの良さを認め合おうとしている。 ③グループで取り組む際に、仲間と助け合おうとしている。

4 単元計画（全7時間）

次	時	学習内容	評価規準（評価方法）		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
一	1	課題の設定 パフォーマンス課題を知るとともに、「激しい〇〇」について、友達や先生とイメージを膨らませながら楽しく踊る。			
二	2	情報の収集と整理・分析 小テーマから特徴的な場面や動きをいくつかみんなで作ってみる。 「スポーツの 対決！」 ・ボクシングの攻防！など 比較する	◎知②（行動観察, ICT）		
	3	小テーマから特徴的な場面や動きをいくつかみんなで作ってみる。 「急に〇〇する！」 ・ロボットが壊れた...など 比較する		◎思①（ワークシート）	◎態②（ワークシート）
	4	小テーマから特徴的な場面や動きをいくつかみんなで作ってみる。 「自然界の激しさ」 ・火山の爆発 ・台風の接近...など 比較する	◎知①（ワークシート）		◎態③（行動観察, ICT）
三	5 (本時)	まとめ・創造・表現 一番表したい場면을「なか」にして、「はじめーなかーおわり」のひとまとまりの動きをつくり、ペアグループで見せ合ってアドバイスをし合う。 関連付ける		◎思②（ワークシート）	

	6		アドバイスをもとに「はじめ—なか—おわり」のひとまとまりの動きを工夫して踊る。	◎知③（行動観察、ICT）		
四	7	実行	パフォーマンス課題に取り組む。 ・発表会の様子を他の学級や家族に見てもらい、良かったところや改善点を聞く。		◎思③（パフォーマンス課題）	
	8		振り返り	他の学級の友達や家族から聞いた意見と単元で学んだことをまとめ、よりよい動きで踊る。		◎態①（行動観察・ICT・ワークシート）

※指導に生かす評価を行う代表的な機会については「○」を、その中で特に学級全員の児童の学習状況について総括の資料にするために記録に残す評価を行う機会には「◎」を付けている。

5 本時の学習（本時5／7）

（1）本時の目標

表したい感じやイメージを強調するように、変化と起伏のある「はじめ－なか－おわり」のひとまとまりの動きの構成を考えることができる。 【思考・判断・表現】

（2）学習の流れ

	学習活動 (○主な発問・予想される児童の反応)	指導上の留意点	評価規準 (評価方法)
つかむ	1 心と体をほぐす。 ・前時で踊った動きを思い出して、一曲通してグループで自由に踊る。 2 学習課題の確認。	・スモールステップで取り組めるように、「教師のまね→モーションカード→自由な動き」の流れで行う。 ・問題の場面を紙芝居で提示し、場面をおさえる。	
	「はげしい感じの世界」をひとまとまりの動きにして踊ろう！		
	学び合い①自分の考えをもつ		
考える	3 表したいイメージをひとまとまりの動き「はじめ－なか－おわり」の「なか」として表す。	・今までの学習で学んだ「4つのくずし(体)(リズム)(空間・場)(相手)」を映像で確認する。 ・第1時で作成した「イメージビンゴ」の中からやってみたい激しいイメージを選んでペアで表す。	
	学び合い②関連付けながら思考する		
	4 「はじめ－なか－おわり」のひとまとまりの動きを考える。 関連付ける ○表したいイメージが強調されるように「なか」と関連付けて、「はじめ」「おわり」のひとまとまりの動きを考えよう。 ・表したいイメージ別にグループをつくる。 ・一番表したい場面を「なか」にして、「はじめ－なか－おわり」の構成を工夫したひとまとまりの動きをつくる。	・「はじめ」と「おわり」の踊り方に工夫がみられるグループを机間指導で見つけておき、全体に紹介する。 ・自分たちの考えた「はじめ－なか－おわり」のひとまとまりの動きの中に4つのくずしの中で何が使われているかワークシートに記入しながら踊りを考える。	表したい感じやイメージを強調するように、変化と起伏のある「はじめ－なか－おわり」の構成の工夫を考えることができる。 【思・判・表】 (ワークシート)

深 め る	<p>学び合い③考えを広げたり深めたりする</p> <p>5 ペアグループで見せ合い, アドバ イスをし合う。 比較する</p>	<p>・ペアグループに注目してほしいと ころ・動きを伝えてから踊りを見せるよ うにする。</p>
	<p>6 本時の学習をまとめる。</p> <p>㊸ 「はげしい感じの世界」をひとまとまりの動きで踊る時には, ① 「なか」が目立つように「はじめ」と「おわり」をおどる ② 4つのくずしを使う とよい。</p>	
振 り 返 る	<p>7 学習の振り返りを行う。</p>	<p>・自分の学習の振り返りと仲間のよい動きを 見付け, 今日の「キラリ (付箋)」に記 入する。</p>

6 板書計画

